

**本質観取道徳の授業(2年生)!**

13日(金)に九州ルーテル学院大学の岡村健太先生をお迎えし、道徳の授業と研修をしてもらいました。

その中で、「幸せ」とはという本質観取を行いました。本質観取という言葉あまり聞いたことがないと思いますが、本質観取とは、哲学用語で「対話を通して、だれもができるだけ深く納得できる共通理解を見つけること」です。自己理解を深めるとともに対話を通してお互いを理解し合うことができ、その本質をつかむことができるという利点があります。生徒たちの体験を通して、「幸せ」を共有し合い、最終的に言語化します。最終的に、「うれしいと感じるとき」、「自分が楽しいと思うときや心が満たされる瞬間」「楽しいことをしているときや好きなことができているとき」等が上げられました。この本質観取を参考に「幸せ」な瞬間がたくさんできるように日々の生活を充実させてほしいと思います。それが最終的にウェルビーイングな人生につながっていくことでしょう。

**ふるさと再生プロジェクト式典(全校)と教育長表敬訪問!**

17日(火)に今回助成をいただいたローソン川島町店オーナー矢野将文様以下2名と宮崎県緑化推進機構専務理事黒木哲郎様以下1名、関係各位の皆さんにお越しいただき式典を開催しました。自分のあいさつの後、緑化推進機構の黒木様より「環境緑化モデル事業」の説明がありました。2006年よりローソンの各店舗に設置されている募金の箱の一部を活用し、「緑の募金」として、全国の小中学校に助成をしているそうです。生徒会役員

の7名で北川中の学校の概要と今年度の取り組みについて、右の内容の発表をしてくれました。『ユネスコスクールである北川中学校は、「緑の募金」を活用し、生徒総会での議論をもとに「自然と共生する社会」を目指した環境保護活動を展開しています。活動は学年ごとに分かれ、1年生は家田湿原での花壇作り、2年生はホテルのピオトープ清掃、3年生は17本の桜の植樹に取り組みました。全校で取り組むホテルの飼育では、地域住民の協力を得ながら命の尊さを学んでいます。これらの主体的な活動を通じ、生徒は環境問題への意識を深め、地域の宝を守る責任感を養いました。今後も自然を次世代へ

つなぐため、地域と共に持続可能な社会づくりに挑戦し続けます。』とても堂々とした発表でした。ありがとうございました。来賓の方々も、礼儀やあいさつがしっかりでき、素晴らしいですねと感心しきりでした。夕方には、生徒会執行部と延岡市教育長の高森賢一様を表敬訪問し、キャリア教育優良校の報告を行いました。生徒会長の甲斐きわさん、副会長の谷口大河さん、塚本楓夏さんの3名で取り組みについての発表と教育長から「北川の良さや将来の夢、これからの北川をどうするかなど」の質問に対して、それぞれの想いを力強く語ってくれました。3人にとって貴重な経験になったことでしょう。

